SPEEDIA N5

セットアップガイド

プリンタの設置方法、プリンタドライバのインストール方法等、印刷できる状態にするまでの方法が記載されています。

T-608P-1F
MA0202-G　2002年2月25日　第7版発行

安全上のご注意

製品を設置・ご使用になる前に必ずお読みください。

　このたびは、SPEEDIA N5シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
　この「取扱説明書」は、SPEEDIA N5シリーズを安全に正しくご使用いただくためにプリンタの正しい使いかた・点検・不具合が起きたときの処置のしかたなどについて説明したものです。プリンタをご使用の前に必ずお読みください。ご使用中もお手元に置いてご利用いただけるよう、印刷してご使用ください。サーバーをご使用の場合は、本CD-ROMのデータを共有フォルダにコピーして、プリンタをご使用になる方全員が参照できるようにしておくことをおすすめします。

本書の適用機種：SPEEDIA N5
　　　　　　　　SPEEDIA N5-P

注意表示について

本製品は内部に高温・高電圧部品を使用しています。お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、本書では、製品の取り扱いを誤ったときに生じる危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに、次のような注意表示をしています。

⚠警告　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う事があります。

注意　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うまたは、財産に損害を与える事があります。

絵表示について

本書にはさらに次のような絵表示をしています。

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。左の例は、高電圧部分につき注意が必要なことを意味します。

⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています。左の例は、分解禁止を意味します。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。左の例は電源プラグをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

⚠ 警 告

<電源に関する警告>

AC100V、50/60Hz、15A以上の専用コンセント以外には接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、発熱や火災の原因になる事があります。

アース線を第３種接地工事をしたアース端子に接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。アース接続ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の恐れがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れて危険です。）
- 水道管（配管の途中がプラスチック等になっている事が多いため、アースの役割を果たしません。）

タコ足配線や電源コードの継ぎ足し（容量不足の延長コード）は使用しないでください。
また、パソコン等の補助コンセントには接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

⚠ 警 告

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重たいものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の恐れがあります。
電源コードに傷や亀裂が付いたときは、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡し、新しい電源コードに交換してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

プリンタの電源スイッチをONにしたままプラグを抜き差ししないでください。プラグが変質し、火災の原因になる事があります。

<製品の取り扱いに関する警告>

製品の上に水の入った容器（コップ・花瓶・植木鉢など）や金属物（クリップ・ホチキスの針等）を置かないでください。
こぼれたり、製品の中に入った場合、火災・感電の恐れがあります。万一製品の中に異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠ 警告

万一製品から煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

製品を分解・改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。製品の調整・点検の際は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

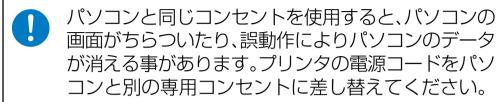
＜電源に関する注意＞

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になる事があります。

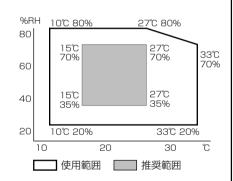
本製品を移動するときや、お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や、電源コードが傷ついて火災の原因になる事があります。

連休などで、本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

パソコンと同じコンセントを使用すると、パソコンの画面がちらついたり、誤動作によりパソコンのデータが消える事があります。プリンタの電源コードをパソコンと別の専用コンセントに差し替えてください。

＜設置場所に関する注意＞

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になる事があります。
プリンタ本体は床から35cm以上離して設置してください。

安全のため温度や湿度が右図で示す「使用範囲」の場所でご使用ください。
また、プリンタの最高の性能を発揮するためには「推奨範囲」でのご使用をおすすめします。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物（強燃性スプレー等）やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には設置しないでください。火災の原因になる事があります。

狭い部屋で長時間使用するときは、換気にご注意ください。

⚠ 注 意

製品の通風口をふさがないでください。通風口をふさいだまま使用すると、製品内部の温度が上昇して、火災の原因になる恐れがあります。

キャスターが付いた台の上に設置するときは、必ずキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になる事があります。

大切な家具などの上に設置しないでください。長時間同じ場所に設置しておくと、製品のゴム足が設置した場所に付着して汚す事があります。

テレビやラジオの近くに設置しないでください。受信障害の原因になる事があります。

<製品の取り扱いに関する注意>

シェルは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする事があります。シェルを閉めるときは必ず周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

用紙排出口付近の定着器は高温になりますので手を触れないでください。やけどの原因になります。

詰まった用紙を取り除いたり、消耗品を交換するときなどはプリンタの突起部に触れてけがをしないようにご注意ください。

⚠ 注 意

詰まった用紙を取り除くときは、内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったまま使用すると火災の原因になる事があります。
なお、用紙が定着器の内部に残って取り除けないときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、お買い求めの販売店にご連絡ください。

製品内部の電極や金属部品に手を触れないでください。感電の恐れがあります。製品のお手入れは、必ず電源スイッチを切ってから行なってください。

布のカバーなどを掛ける場合は、電源を切った後、製品の内部が十分冷えきってから掛けてください。製品の内部が熱いうちに掛けると、火災の原因になる事があります。

トナーやドラムに毒性はありませんが、トナーが手や皮膚についたときはすぐに洗い流してください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流し、眼科医の診療を受けてください。

消耗品の交換の際は、トナーで周囲を汚さないように紙などを敷いて行なってください。万一トナーが衣服に付いたときは、ぬらさずに、掃除機で吸い取ってください。

⚠ 注 意

<持ち運び・廃棄に関する注意>

製品を持ち運ぶ際は必ず4人以上で運んでください。図のように製品の取っ手をしっかりと持って、静かに持ち上げます。腰を傷めたり、製品を落としてけがをしないように十分ご注意ください。製品重量は、消耗品·オプション無しでも約72kgあります。

拡張ペーパフィーダ(オプション)をご使用のときは、本体から取り外して別々に運んでください。

使用済みの消耗品は焼却しないでください。一部可燃性の材料を使用しているため、火災·やけど·ガスの発生などで思わぬ事故の原因になります。カシオは地球環境保護のために、使用済みのドラムセットとトナーセットを無償で回収しています。詳しくは別売のドラムセットまたはトナーセットに同梱されている案内書をご覧ください。やむを得ず廃棄する場合は、一般の不燃物(廃プラスチック·金属)扱いで廃棄してください。なお、地方自治体の条例により廃棄·分別の方法が指定されている場合はそれに従って廃棄してください。

特　長

カラーもモノクロも1分間に29枚（A4横）プリントできて
速い

高解像度と階調表現で、印刷が
きれい

自動レジストレーション調整と自動濃度調節で
いつでも写真高画質

64bit高速RISC CPUとデータ高圧縮伸張機能で
画像処理が速い

トナーセーブ機能とスリープモード時25W以下の低消費電力で
経済的

ペーパカセットでA3サイズまで印刷でき、オフィスに最適な
ビジネスカラープリンタ

オプションのLAN I/Fボードをつければ
ネットワークプリンタ

マルチペーパフィーダから長いサイズの用紙に印刷ができる
長尺紙対応

最大157g／㎡の厚紙に印刷ができる
厚紙対応

オプションの拡張ペーパフィーダを４台取り付けて
最大2850枚大量印刷
（MPF給紙100枚を含む）

目　次

安全上のご注意 1

特　長 6

目　次 7

本書中のマークと表記について 8
マークについて 8
表記について 8
Windowsの画面について 8

1. プリンタ各部の名称と働き 9

2. 同梱品の確認 11

3. 設置場所の選定 12
3.1 設置に適した場所 12
3.2 設置スペース 13
3.3 設置に不適当な場所 14
3.4 設置台について 14
3.5 プリンタを持ち運ぶ際の注意 15

4. 輸送用の緩衝材の取り外し 16
4.1 転写ベルト緩衝材の取り外し 16

5. 消耗品の取り付け 18
5.1 ドラムセットを取り付けます 18
5.2 トナーセットを取り付けます 20
5.3 用紙をセットします 22

6. 電源コードの接続と動作確認 24
6.1 電源コードを接続します 26
6.2 セルフプリント(ステータスシート)の印刷 ... 28

7. パソコンとの接続 30
7.1 ローカル接続の場合 30
7.2 ネットワーク接続の場合 31

8. パソコンのセットアップ 32
8.1 システム環境条件 32
8.2 プリンタソフトウェアのセットアップ 33

本書中のマークと表記について

マークについて

本書では、以下のマークによって、ご注意いただきたい重要事項や、取り扱い上の補足説明を記載しています。
マークの付いている記述は、必ずお読みください。

この記載に従わないで誤った取り扱いをすると、プリンタが故障する事が想定される内容を記載しています。

ポイント 取り扱い上の補足説明や、ご確認いただきたいことを記載しています。

☞ 関連した内容の参照先を示しています。

☞ この色になっている項目をクリックすると、該当するページを参照できます。（元の画面に戻りたいときはAcrobat Readerの ⬅「前の画面」ボタンを押します。）

表記について

本書では、パソコンのオペレーティングシステムを以下のように省略して記載する事があります。

<正式名称>

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版

<省略記載>

Windows95
Windows98
WindowsNT4.0
Windows2000
WindowsMe
WindowsXP
総称する場合は「Windows」と記載する場合があります。
併記する場合は「Windows95/98/NT4.0/2000」のように「Windows」を省略する場合があります。

Windowsの画面について

本書に掲載のWindowsのパソコン画面は、特に指定がない限り、Windows98の画面を例に使用しています。

1. プリンタ各部の名称と働き

<背面>

外部装置接続コネクタ
オプションの給紙装置や排紙装置を接続するコネクタです。
詳しくは各オプション装置の説明書をご覧ください。
アッパー排紙トレイ（フェイスアップ）
印刷された用紙が印刷面を上にして（フェイスアップ）出てきます。
ハードウェアマニュアル（35ページ）
大容量給紙装置
接続コネクタ
リザーブ
両面カバー
両面印刷ユニットを取り付けるときに開けます。
ハードウェアマニュアル
（49ページ）
電源スイッチ
「I」側を押すとON
「O」側を押すとOFF
インターフェイスボックス
オプションの増設メモリモジュールや、ハードディスクユニットは、この中に取り付けます。
ハードウェアマニュアル
（52ページ）
電源コード差し込み口
電源コードを差し込みます。
拡張I/Fボード挿入口
拡張パラレルI/FボードまたはLAN I/Fボードのいずれか1枚が装着できます。
ハードウェアマニュアル（51ページ）
パラレルインターフェイスコネクタ
プリンタケーブルを接続します。
（30ページ）

2. 同梱品の確認

● 梱包箱に次のものがそろっているか確認してください。もし不足しているものがあれば、お買い求めの販売店にご連絡ください。

<本体>

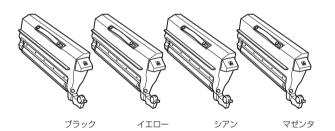
取扱説明書について

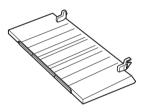
本プリンタの取扱説明書はCD-ROM内に収録されています。製本された取扱説明書は同梱されていませんのでご注意ください。

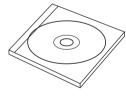
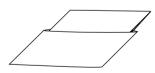
☞ ハードウェアマニュアル「付録8.マニュアル印刷とキーワードによる検索方法」（100ページ）

取扱説明書の一部を抜粋して、クイックガイドにまとめてありますのでご活用ください。

<付属品>

ドラムセット（4本）

トナーセット（4本）

電源コード

アッパー排紙トレイ
（本体に実装済み）

定着クリーナ　1本

CD-ROM

クイックガイド
（ケース付き）

設置手順書

安全上のご注意

保証書請求用ハガキ

本体に付属のトナーセットの寿命は約5,000枚（A4、5%連続印字、常温常湿）、ドラムセットは約20,000枚（A4）です。

3. 設置場所の選定

3.1 設置に適した場所

次のような場所に設置してください。

● プリンタの重量（約 185kg）が十分耐えられる水平で安定した場所
（標準実装状態で約 85kg、全てのオプション類を実装すると約 185kg になります。）

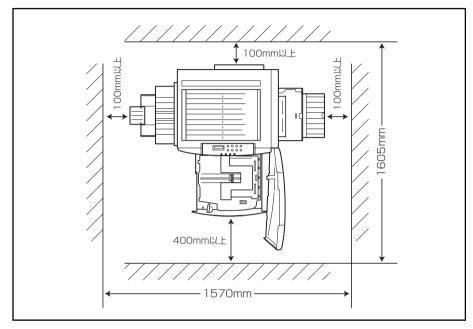
● プリンタ専用のコンセント（AC100V、50/60Hz、15A 以上、アース端子付き）が確保できる場所
（プリンタと同じコンセントから他の機器（パソコン等）の電源を取らないでください。）

● 密閉されていない風通しの良い場所

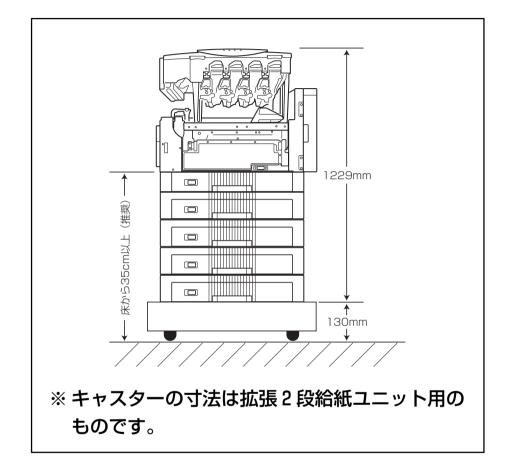
● 直射日光が当たらない場所（3,000Lux 以下を推奨）

● 用紙のセットや消耗品の交換等が無理なくできるスペースが確保できる場所（次項の「設置スペース」参照）

● 以下の環境条件を満足する場所
- 温度：　10 ～ 33℃（15 ～ 27℃を推奨）
- 湿度：　20 ～ 80%（35 ～ 70%を推奨）
（ただし結露しないこと）
- 水平度：1.0°以下

3.2 設置スペース

● プリンタ本体を床面にじかに設置しないで、35cm以上離して設置することをおすすめします。ホコリによる故障の原因になることがあります。
● 設置台はオプションのN5専用デスク（N5-DESK）または、拡張2段給紙ユニット（N5-CPF2C）のご使用をおすすめします。
　N5専用デスク　　　：本体＋拡張ペーパフィーダ（0台～1台）設置用
　拡張2段給紙ユニット：本体＋拡張ペーパフィーダ（2台～4台）設置用

※ **拡張2段給紙ユニットには拡張ペーパフィーダが2台付いています。**

※ **キャスターの寸法は拡張2段給紙ユニット用のものです。**

● キャスター付きの台に設置するときは、必ずキャスター止めをしてください。

3.3 設置に不適当な場所

次のような場所には設置しないでください。

⚠ 注 意

湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。プリンタ本体は床から35cm以上離して設置することをおすすめします。
火災・感電・故障の原因になる事があります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物（強粘性スプレー等）やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には設置しないでください。
火災の原因になる事があります。

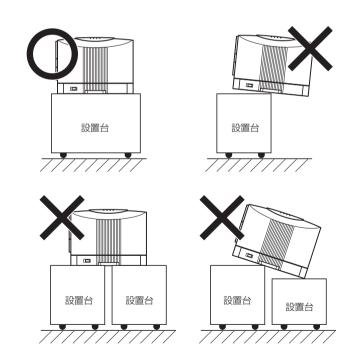
狭い部屋で長時間使用するときは、換気にご注意ください。

製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさいだまま使用すると、製品内部の温度が上昇して、火災の原因になる恐れがあります。

大切な家具などの上に設置しないでください。
長時間同じ場所に設置しておくと、製品のゴム足が付着して、大切な家具を汚す事があります。

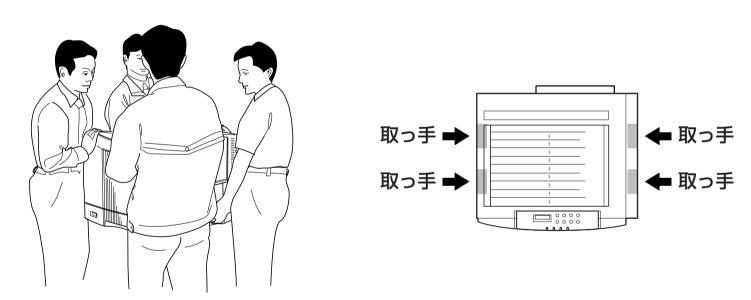
テレビやラジオの近くに設置しないでください。
受信障害の原因になる事があります。

3.4 設置台について

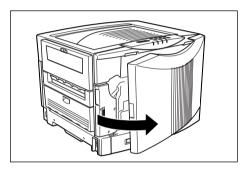
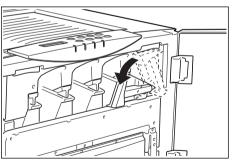
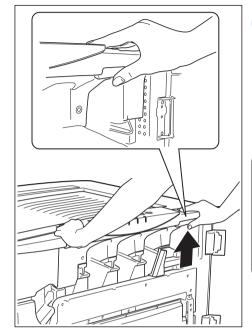
設置台はプリンタの底面より広く、丈夫で水平な台に設置してください。
プリンタのゴム足が台から外れていたり、2つ以上の台にまたがって設置したり、段差があるような場所に設置すると、プリンタの内部機構に無理な力がかかり、画像不良や、紙詰まりが発生しやすくなります。そのまま使用すると故障の原因になりますので絶対に避けてください。

3.5 プリンタを持ち運ぶ際の注意

注 意

製品を持ち上げる際は、必ず 4 人以上で作業してください。
製品の重量は消耗品やオプション無しでも約72kgあります。無理な姿勢で持ち上げて腰を痛めないようご注意ください。
図のように製品の取っ手をしっかりと持って、水平に持ち上げてください。取っ手以外の場所に手をかけたり、傾けて持ち上げるとプリンタの破損および落下によるけがの恐れがあります。

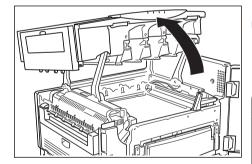
プリンタをキャスター付きの台に乗せるときは、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業してください。
作業中に台が動くとプリンタの落下などによりけがの原因になる事があります。

4. 輸送用の緩衝材の取り外し

プリンタ本体には輸送用緩衝材が取り付けられています。以下の手順に従って全ての緩衝材を取り外してください。そのまま電源を入れると、故障の原因になる事があります。

4.1 転写ベルト緩衝材の取り外し

1 フロントカバーを開けます。

2 ロックレバーを解除側（横向き）に倒します。

3 シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

ポイント
シェル左側の取っ手には解除ボタンがありません。シェルロックの解除は右側の取っ手で行なってください。

4 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

注 意

ドラムセットやトナーセットが装着されていない状態では、シェルが勢いよく開きますので、ゆっくりと開けてください。

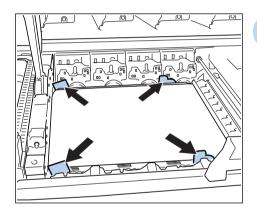
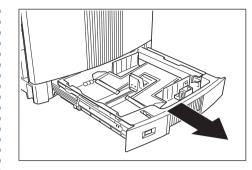
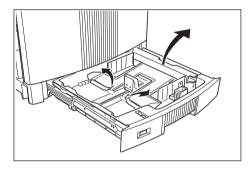
⚠ 注 意

シェルは必ず最後まで開けてください。
途中で止めたり、開けたシェルに手を触れるとシェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

プリンタ内部の部品に手を触れないでください。
部品のエッジ等でけがをする恐れがあります。

5 転写ベルトの緩衝材（4個）を取り外します。

注意! 転写ベルト（プリンタ内部の黒いベルト）の上に物を落として傷を付けないようご注意ください。印刷不良や転写ベルト切れの原因になることがあります。

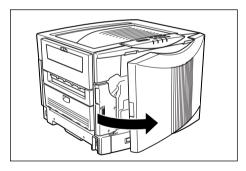
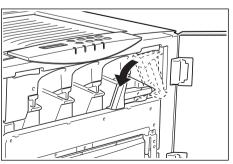
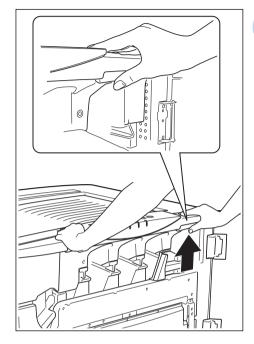
ポイント 本体と一緒に拡張ペーパフィーダや両面印刷ユニット、LANボード等のオプション品をご購入されている場合は、各オプション品に同梱されている取扱説明書を参照して、オプション品の取り付けを先に行なってください。

6 ペーパカセットをプリンタから引き出します。

7 ペーパカセット内の緩衝材（ダンボール1個）とテープ（2枚）を取り外します。

次にドラムセットを取り付けます

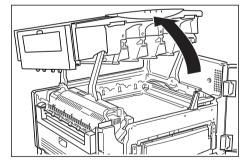
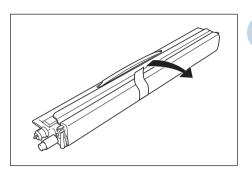
5. 消耗品の取り付け

5.1 ドラムセットを取り付けます

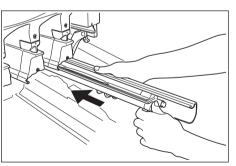
ドラムセットは、色別にブラック、イエロー、シアン、マゼンタの 4 種類があります。ドラムセットの装着口にも装着するドラムセットの色が示してあります。以下の手順で同じ色のドラムセットを取り付けてください。

※ 以下の手順はマゼンタ用のドラムセットをプリンタに取り付ける手順ですが、その他のドラムセットも同様に取り付けてください。

1 フロントカバーを開けます。

2 ロックレバーを解除側（横向き）に倒します。

3 シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

4 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

⚠ 注 意

! ドラムセットやトナーセットが装着されていない状態では、シェルが勢いよく開きますので、ゆっくりと開けてください。

5 ドラムセットを箱から取り出し、テープをはがします。

- このときはまだドラムカバーを外さないでください。

6 ドラムセット挿入口のレールに、ドラムセットのツバが掛かるようにセットします。

7 ドラムカバーを手で支えながら、ドラムセットだけを押し出すように、奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

8 5から7の手順を繰り返して、4色全てのドラムセットを取り付けます。

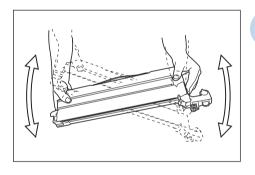
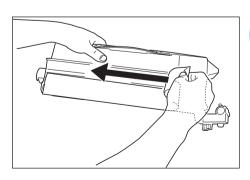
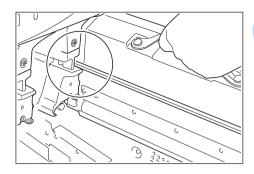
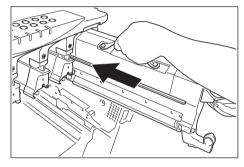
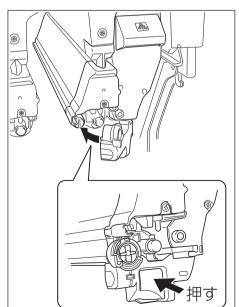
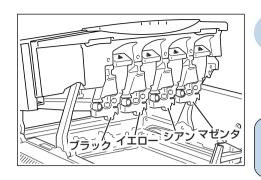
ポイント
右から順にマゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの順です。

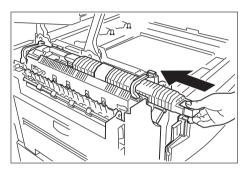
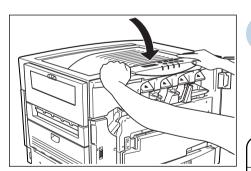
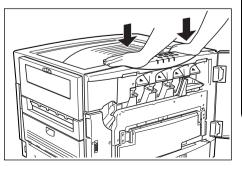
注意！
転写ベルト（プリンタ内部の黒いベルト）の上に物を落として傷を付けないようご注意ください。
クリップやステープラーの針などの異物をプリンタ内部に落とさないようご注意ください。

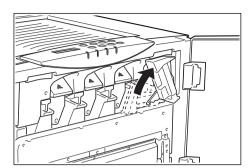
次にトナーセットを取り付けます

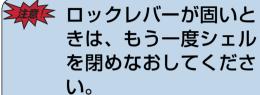
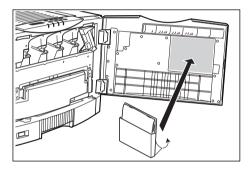
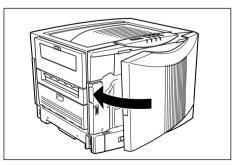
5.2 トナーセットを取り付けます

トナーセットは、色別にブラック、イエロー、シアン、マゼンタの 4 種類があります。トナーセットの装着口にも装着するトナーセットの色が示してあります。以下の手順で同じ色のトナーセットを取り付けてください。

※ 以下の手順はマゼンタ用のトナーセットをプリンタに取り付ける手順ですが、その他のトナーセットも同様に取り付けてください。

1 トナーセットを箱から取り出し、図のようによく振って、中のトナーが片寄らないようにします。

2 トナーシールテープをはがします。

3 トナーセット挿入口のレールに、トナーセットのツバが掛かるようにセットします。

4 トナーセットを奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

5 トナーセットの連結レバーを倒してドラムセットにカチッと接続します。

6 1から5の手順を繰り返して、4色全てのトナーセットを取り付けます。

ポイント　右から順にマゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの順です。

7 定着クリーナを定着ユニットの溝に沿ってスライドさせながらカチッとロックする位置に取り付けます。

8 シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

9 ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

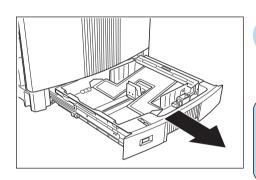
ロックレバーが固いときは、もう一度シェルを閉めなおしてください。

10 付属品のクイックガイドのケースを、裏面の台紙をはがしてフロントカバー内側の１段へこんでいる場所へ貼り付けます。

11 フロントカバーを閉めます。

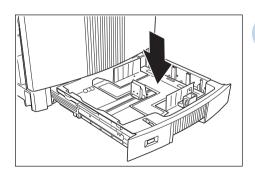
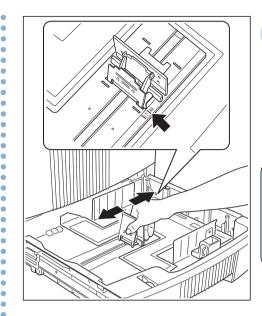
次に用紙をセットします

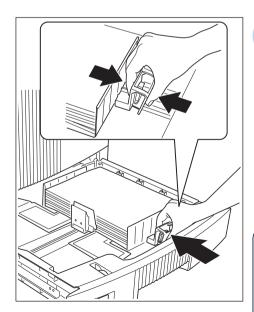
5.3 用紙をセットします

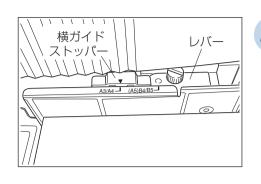
ここでは、ペーパカセットに普通紙をセットする方法を説明します。

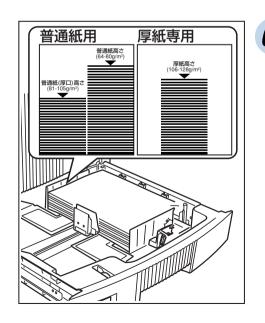
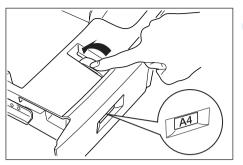
※ 使用できる用紙の種類や取り扱いには注意が必要です。

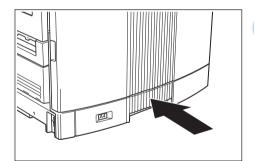
☞ ハードウェアマニュアル「付録 2 . 用紙について」（88 ページ）

1 ペーパカセットをプリンタから引き出します。

> **ポイント** 通常はペーパカセットをプリンタから取り外さないでください。

2 ペーパカセットの底板（金属板）を押し下げてカチッと固定します。

3 後ガイドの固定クリップをつまみながら、使用する用紙サイズの位置に固定します。

> **ポイント** 固定クリップのツメがカセットの溝に固定されていることを確認してください。

4 印刷する面を下向きに用紙をそろえてセットし、横ガイドのロックレバーをつまみながら、用紙に軽く当たる位置に調整します。

> **ポイント** 横ガイドを用紙に強く押し付けないでください。紙詰まりの原因になることがあります。

5 用紙サイズに合わせて、横ガイドストッパーとレバーを調整します。

詳しくは、 ハードウェアマニュアル「ペーパカセットのサイズ変更方法」(24ページ)を参照してください。

6 横ガイドのラベルの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り除きます。セットできる用紙の量はカセットの種類や用紙の厚さによって違いますのでご注意ください。

7 セットした用紙サイズに、用紙サイズダイヤルを合わせます。

> **ポイント** マルチペーパフィーダに用紙をセットする方法は、 ハードウェアマニュアル「2.4　マルチペーパフィーダ(MPF)からの給紙」(27ページ)を参照してください。

8 ペーパカセットをプリンタの奥までゆっくり押し込みます。

> **ポイント** カセットをプリンタに差し込むときは必ず底板を押し下げて、ゆっくりとセットしてください。
> 底板が上がったままプリンタに差し込むと、紙詰まりの原因になります。

次に電源コードを接続します

6. 電源コードの接続と動作確認

警 告

＜電源に関する警告＞

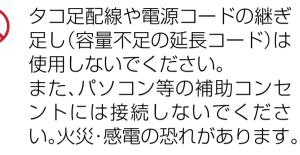
AC100V、50/60Hz、15A以上の専用コンセント以外には接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、発熱や火災の原因になる事があります。

アース線を第 3 種接地工事をしたアース端子に接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。アース接続ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の恐れがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れて危険です。）
- 水道管（配管の途中がプラスチック等になっている事が多いため、アースの役割を果たしません。）

警 告

タコ足配線や電源コードの継ぎ足し（容量不足の延長コード）は使用しないでください。
また、パソコン等の補助コンセントには接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重たいものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の恐れがあります。電源コードに傷や亀裂が付いたときは、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡し、新しい電源コードに交換してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

プリンタの電源スイッチをＯＮにしたままプラグを抜き差ししないでください。プラグが変質し、火災の原因になる事があります。

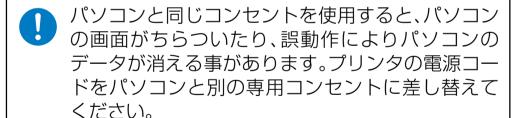
注 意

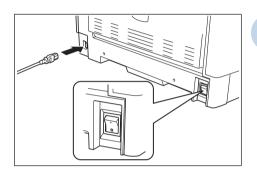
<電源に関する注意>

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になる事があります。

本製品を移動するときや、お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や、電源コードが傷ついて火災の原因になる事があります。

連休などで、本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

パソコンと同じコンセントを使用すると、パソコンの画面がちらついたり、誤動作によりパソコンのデータが消える事があります。プリンタの電源コードをパソコンと別の専用コンセントに差し替えてください。

6.1 電源コードを接続します

消耗品やオプションの取り付けが終了したら、電源コードを接続してプリンタの動作確認のためにステータスシートを印刷します。

1 **プリンタの電源スイッチが OFF になっていることを確認してから、電源コードをプリンタに差し込みます。**

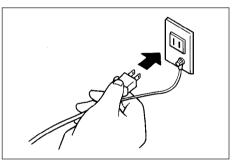
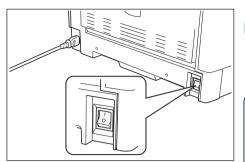
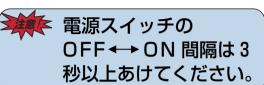
2 **電源プラグをコンセントに差し込みます。**

⚠ 警告

このときアース線は必ず接続してください。アース接続しないで万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。

詳しくは **警告（24ページ）を参照してください。**

3 **電源スイッチを ON にします。**

電源スイッチの OFF←→ON 間隔は 3 秒以上あけてください。

電源スイッチを ON にするとプリンタは以下のように動作します。

イニシャルチェック

```
イニシャル　ショリ　チュウ
****************
```

通常表示（例）

```
インサツ　デ゛キマス
```

- プリンタの動作音がします。
- 全てのランプが一度点灯します。
- 表示パネルが左図のように表示します。（＊＊＊部分にチェック内容が表示されます。）
- データランプとメッセージランプが消灯し、表示パネルが通常表示になれば、印刷可能な状態です。

- 電源ランプが点滅しているときはウォームアップ中です。ウォームアップ中はデータの受信はできますが印刷はされません。ウォームアップが終了すると（最大200秒後）電源ランプが点灯に変わり、印刷を開始します。

ポイント **エラーメッセージが表示されたときは、 ハードウェアマニュアル「6.1 表示パネルのメッセージと処置方法」（57ページ）を参照して正しい処置をしてください。**

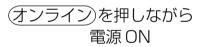
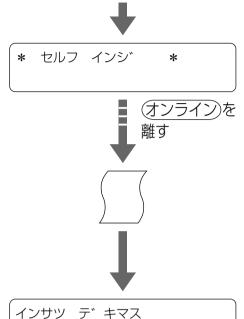
6.2 セルフプリント(ステータスシート)の印刷

プリンタの設置が終わりました。プリンタの動作確認のためにセルフプリントを行ないます。

セルフプリントの印刷

次の手順に従ってセルフプリントを行なってください。

イニシャル　ショリ　チュウ

1. Ａ　４　用紙をペーパカセットに横置きにセットします。
2. オンライン ボタンを押しながら電源スイッチを ON にします。
3. イニシャルショリチュウと表示されている間は オンライン ボタンを押し続けます。

4. ＊　セルフ　インジ＊　と表示されたらオンラインボタンから手を離します。
5. 電源ランプが点滅から点灯に変わるとセルフプリントを開始します。
6. セルフプリントが終わると通常状態に戻ります。

セルフプリントの結果

セルフプリントを行なうと、次のようなセルフパターンが印刷されます。

ステータスシート

B）印刷設定1グループ
給紙選択　：自動
自動給紙対象　：CPF+MPF
自動用紙（HCPF）　：する
MPF用紙サイズ　：A4
MPF通紙動作　：指定サイズ
排紙選択　：自動
FU／FD切替え　：フェイスダウン

C）印刷設定2グループ
両面印刷　：片面
カラー／モノクロ　：カラー
エコノミー印刷　：しない
エコノミー枚数　：3枚
レジスト補正　：する
濃度補正　：する

D）印刷設定3グループ
上オフセットMPF　：0mm
上オフセットCPF 1　：0mm
上オフセットCPF 2　：0mm
上オフセットCPF 3　：0mm
上オフセットCPF 4　：0mm
上オフセットCPF 5　：0mm
上オフセットHCPF　：0mm
上オフセット裏MPF　：0mm
上オフセット裏CPF 1　：0mm
上オフセット裏CPF 2　：0mm
上オフセット裏CPF 3　：0mm
上オフセット裏CPF 4　：0mm
上オフセット裏CPF 5　：0mm
上オフセット裏HCPF　：0mm

E）印刷設定4グループ
左オフセットMPF　：0mm
左オフセットCPF 1　：0mm
左オフセットCPF 2　：0mm
左オフセットCPF 3　：0mm
左オフセットCPF 4　：0mm
左オフセットCPF 5　：0mm
左オフセットHCPF　：0mm
左オフセット裏MPF　：0mm
左オフセット裏CPF 1　：0mm
左オフセット裏CPF 2　：0mm
左オフセット裏CPF 3　：0mm
左オフセット裏CPF 4　：0mm
左オフセット裏CPF 5　：0mm
左オフセット裏HCPF　：0mm

F）印刷設定5グループ
紙種　：普通
OHP検知動作　：自動切替え
コピー枚数　：1枚
トナーセーブ　：ノーマル
スムージング　：ON
フレーム圧縮　：する
JAMリカバリ　：する

G）機能設定グループ
スリープ　：60分
スタンバイ　：30分
ブザー　：パターン1
エラー解除　：しない

☆搭載メモリ　：64MB
☆HDD装置　：未装着
☆CPF 1　：A4
☆両面装置　：未装着
☆拡張I／F　：未装着

H）I／F 設定グループ
タイムアウト　：30秒
パラレルモード　：ECPモード
ステータス応答　：する
拡張ONIT信号　：無効
ビジーディレイ　：0
受信バッファ　：自動割当て

I）モード設定グループ
プリンタモード　：ESC／P
解像度　：300 DPI
縮小　：OFF
用紙方向　：縦
リバース印字縦　：しない
リバース印字横　：しない
M／Mカラー指定　：有効（互換）
HDA　：無効

SPEEDIA
Model N5

Serial No:
I／F-Cont Ver:
Eng-Cont Ver:
LC.
CS=

J）201H設定グループ
連続紙　：OFF
給紙位置　：8.5mm
用紙位置　：左
自動復帰改行　：する
右マージン　：用紙幅
キャラクタモード　：8ビット
各国文字　：日本
ゼロ　：0
書体　：明朝
イメージ補正　：1
自動排紙　：OFF
EMカラー指定　：有効

K）ESC／P設定グループ
連続紙　：OFF
給紙位置　：8.5mm
自動復帰改行　：する
右マージン　：用紙幅
文字コード　：カタカナ
ゼロ　：0
書体　：明朝
イメージ補正　：1
自動排紙　：OFF
EMカラー指定　：有効

L）ESC／Page設定グループ
自動復帰改行　：する
自動改ページ　：する
CR　：CR
LF　：CR+LF
FF　：CR+FF
エラーコード　：OFF
イメージパターン　：1
フォントタイプ　：1
C／Mスクリーン指定　：有効

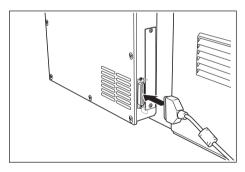
CASIO

次にパソコンに接続します ➡

7. パソコンとの接続

パソコンに接続する方法はパラレルインターフェイスケーブルで接続するローカル接続と、Ethernet インターフェイスケーブルで接続するネットワーク接続の 2 通りが可能です。

ポイント ネットワーク接続するためにはプリンタにLAN ボード（オプション）を取り付ける必要があります。

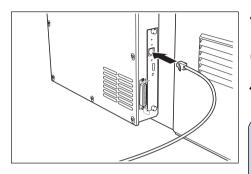
7.1 ローカル接続の場合

プリンタ背面のインターフェイスコネクタ（セントロニクス準拠36ピン）に、プリンタケーブルのコネクタを差し込み固定します。

注意！ プリンタケーブルを接続する前に、必ずパソコンとプリンタの電源を切ってください。

ポイント 本プリンタはECP（Extended Capabilities Port：1284準拠）をサポートしていますが、ECPで使用するときは「CP-CA554（オプション）」（DOS/V機用）のプリンタケーブルをご使用ください。また、パソコン側もECP モードをサポートしている必要があります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ポイント 各社パソコンの純正プリンタケーブルをご使用になる場合は、VCCI適合のために、必ずケーブルとコネクタがシールドされたものをご使用ください。シールドされていないものを使用すると電波障害の原因になる事があります。

次にネットワーク接続をします

7.2 ネットワーク接続の場合

プリンタ背面のLANボード（オプション）にEthernetケーブルを差し込みます。

ポイント Ethernetケーブルは、市販のシールドツイストペアケーブル（カテゴリー５ＳＴＰ）のストレートケーブルをご使用ください。

ポイント ＬＡＮ ボード（オプション）の取り付け方法はハードウェアマニュアル「オプションについて」を参照してください。

ポイント LAN ボードにはあらかじめ IP アドレス等の設定をしておく必要があります。詳しくはLANボードに同梱のマニュアル（CD-ROM 内 PDF マニュアル）を参照してください。

ポイント 一部のスイッチング HUB、パラレルー LAN 変換アダプタ、プリンタ切り替え機をプリンタに接続すると正しくデータ転送ができない場合があります。正しくデータ転送できないときは、これらの中継機器を外して、直接接続する方法をお試しください。

次にパソコンのセットアップをします

8. パソコンのセットアップ

8.1 システム環境条件

使用できるパソコンのハードウェアおよびシステムの最低条件は以下の通りです。

■ Windows95/Windows98

オペレーティングシステム	Windows95 日本語版／Windows98 日本語版
CPU	i486SX®以上（Pentium®以上推奨）
主記憶メモリ	8MB 以上（推奨 32MB 以上）
ハードディスク空き容量	10MB 以上（推奨 200MB 以上）
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

■ Windows Me

オペレーティングシステム	Windows Me ／日本語版
CPU	Pentium®（150MHz）以上
主記憶メモリ	32MB以上（推奨64MB以上）
ハードディスク空き容量	295MB 以上（推奨 500MB 以上）
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

■ WindowsNT4.0/Windows2000

オペレーティングシステム	WindowsNT4.0 日本語版／Windows2000 日本語版
CPU	i486SX®（25MHz）以上 x 86 系または Pentium®（Pentium®以上推奨）
主記憶メモリ	16MB以上（推奨32MB以上）
ハードディスク空き容量	20MB 以上（推奨 200MB 以上）
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

■ Windows XP

オペレーティングシステム	Windows XP ／日本語版
CPU	Pentium®／Celeron™ または AMD K6 ／ Athlon ／ Duron™（300MHz）以上
主記憶メモリ	64MB以上（推奨128MB以上）
ハードディスク空き容量	20MB以上（推奨200MB以上）
ディスプレイ	Super VGA（800x 600）以上の解像度

次にプリンタソフトウェアのセットアップをします

8.2 プリンタソフトウェアのセットアップ

プリンタに同梱のCD-ROMには、プリンタをご利用いただくために必要なプリンタドライバなどの各種ソフトウェアおよび取扱説明書が収められています。
プリンタをご使用になるためには、最低でもプリンタドライバのインストールが必要です。☞ 35ページ
CD-ROMをパソコンにセットし、以下の手順および画面の指示に従ってプリンタドライバと、ご希望のソフトウェアをセットアップしてください。

■ソフトウェアの導入

CD-ROM を、ご導入いただくパソコンの CD-ROM ドライブにセットしてください。
CD-ROM をCD-ROM ドライブにセットすると、スタートアップメニュー（図８－１）が表示されます。（しばらく待っても、自動的にスタートアップメニューが表示されない場合には、エクスプローラなどから CD ドライブを表示し、startup.exe を実行してください。）

■スタートアップメニュー

図８－１

スタートアップメニューは、CD-ROMに収録されている各ソフトウェアの導入をご案内します。
ご希望の項目のボタンをクリックしてください。

主なボタンの説明を以下に示します。

● セットアップ

プリンタ用ソフトウェアをセットアップします。☞ 35ページ

● 取扱説明書

取扱説明書の表示・セットアップを行ないます。☞ 36ページ

● FD 作成

CD-ROMに収録されているソフトウェアを、フロッピーディスクからセットアップできるように、フロッピーディスクにコピーします。☞ 37ページ

■セットアップ

図８－２

図８－３

図８－４

セットアップボタンをクリックすると、セットアップをご案内するウィザードが実行されます。ウィザードの画面メッセージにしたがって、セットアップに必要な項目を各画面で設定して、「次へ」ボタンで進行していきます。セットアップに必要な項目の設定が完了すると、ファイルのインストールが開始されます。

☞ セットアップウィザード（38ページ）

● プリンタドライバ

Windows 用プリンタドライバです。Windows で印刷を行なうために必要です。
標準構成でインストールされます。

● Copy Guard system files

プリンタドライバにコピーガード印刷機能を追加します。
標準構成でインストールされます。

● スピーディアマネージャ For Parallel

プリンタ監視ツールです。パソコンから直接プリンタケーブルで接続されたプリンタの状態（用紙補給／紙詰まり等）を画面に表示することができます。
標準構成ではインストールされません。

● ユーティリティ

プリンタの制御プログラムを更新するためのバージョンアップツール等が収録されています。（プリンタ制御プログラムは、必要に応じて下記ホームページからダウンロードしてください。）
標準構成ではインストールされません。

http://www.casio.co.jp/ppr/download/down_idx.html

※ プリンタ制御プログラム以外にも、最新のプリンタドライバ等が上記ホームページからダウンロードできます。

■取扱説明書

図８－５

図８－６

図８－７

取扱説明書ボタンをクリックすると、選択画面（図８－５）が表示されます。

● 取扱説明書の参照

CD-ROM に収録されている取扱説明書を参照するためには、「各種ガイドの参照」または「各種マニュアルの参照」をクリックしてください。
さらに取扱説明書のトピックが表示されます（図８－６、図８－７）ので、ご覧になりたいトピックをクリックしてください。
（取扱説明書をご覧いただくためには、Adobe Acrobat Reader などのPDF 文書を表示可能なビューアがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、CD-ROMに収録されているAdobe Acrobat Readerをインストールするかどうかを確認するメッセージが表示されますので、インストールしてもよろしければ、「はい」を選択してください。）

● 取扱説明書のインストール

取扱説明書をハードディスクにコピーしてからご参照いただくためには、「取扱説明書のインストール」をクリックしてください。
取扱説明書をインストールするためのウィザードが実行されます。
画面のガイドに従って、インストールを行なってください。

● Acrobat Reader のインストール

Adobe Systems社のAdobe Acrobat Readerをパソコンにインストールします。
CD-ROMに収録されている取扱説明書の文書フォーマットに対応したビューアです。

■ FD 作成

図８－８

FD 作成ボタンをクリックすると、FD 作成画面（図８－８）が表示されます。
FD 作成は、CD-ROM ドライブが搭載されていないパソコンなどのために、セットアップ用フロッピーディスクを作成できます。

セットアップディスクを作成したいソフトウェアをクリックして、開始ボタンを押すとフロッピーディスクの作成を開始します。
（ディスク作成のために、1.44MB でフォーマットしたブランクディスクを用意してください。）

■セットアップウィザード

図８－９

● セットアップウィザードの開始

プリンタウィザードが表示されたら、「次へ」ボタンをクリックして、次の画面に進みます。

図８－１０

● セットアップタイプ

セットアップの方法を選択します。
通常は、「標準」を選択してください。標準的なソフトウェアの構成でセットアップを実行します。

「カスタム」を選択して「次へ」ボタンをクリックすると、セットアップするソフトウェアを選択する画面（図８－１１）が表示されます。
この画面では、インストールしたいソフトウェアにチェックをして、「次へ」ボタンをクリックします。

図８－１１

図８－１２

● インストール先フォルダの指定

この画面では、ソフトウェアのファイルをコピーするフォルダ名を指定します。（ここで指定したフォルダ以外にも、必要なファイルがシステムのフォルダなどにコピーされます。）

この画面は、セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「プリンタドライバ」以外をセットアップする場合にだけ表示されます。

図８－１３

● プログラムフォルダの選択

スタートメニューのプログラムフォルダに、ソフトウェアのアイコンを登録します。登録するフォルダ名を指定してください。通常は、「CASIO SPEEDIA」のまま変更せずに「次へ」ボタンをクリックしてください。

この画面は、セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「プリンタドライバ」以外をセットアップする場合にだけ表示されます。

図８－１４

● ファイルコピーの開始

ファイルのコピーを開始します。設定した内容を確認して「次へ」ボタンをクリックしてください。

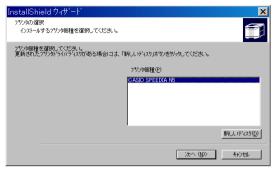



図８－１５

● プリンタの選択

プリンタドライバをセットアップします。
「CASIO SPEEDIA N5」が選択されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックしてください。
この画面は、セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「プリンタドライバ」をセットアップしない場合には表示されません。

図８－１６

● プリンタセットアップ

セットアップを行なうプリンタに関する設定を行ないます。
「プリンタの名前」を指定して「次へ」ボタンをクリックしてください。
この画面は、セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「プリンタドライバ」をセットアップしない場合には表示されません。

図８－１７

● ファイルコピーの開始

「次へ」ボタンをクリックしてプリンタドライバに必要なファイルのコピーを開始します。
この画面は、セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「プリンタドライバ」をセットアップしない場合には表示されません。

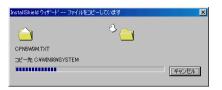



図８－18

図８－19

図８－20

図８－21

● ファイルのコピー

ここまでで設定した内容に基づいて、ファイルのコピーとソフトウェアの登録が実行されます。

コピーの実行中に、いくつかの確認のためのダイアログが表示されます。

Windows2000/XP では、ファイルのインストール前に、図８－19のダイアログボックスが表示されます。（セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「プリンタドライバ」をセットアップしない場合には表示されません。）
「はい」ボタンをクリックして、セットアップを続行してください。

また、スピーディアマネージャに関する２つの問い合わせダイアログ（図８－20）、（図８－21）が表示されます。
（セットアップタイプで「カスタム」を選択して、「スピーディアマネージャ For Parallel」をセットアップしない場合には表示されません。）
メッセージの内容を確認して、「はい」または「いいえ」のボタンをクリックしてください。

図８－22

● セットアップの完了

以上でソフトウェアのセットアップは完了です。「完了」ボタンをクリックして、セットアップを終了してください。
「コンピュータを再起動する必要があります。」のメッセージが表示される場合には、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」ボタンをクリックして、コンピュータを再起動するようにしてください。

以上でプリンタのセットアップは完了です。
プリンタをご使用になる前にハードウェアマニュアルもよく読んでご活用ください。

カシオ計算機株式会社
システム営業統轄部　ページプリンタ企画促進課

〒151-8543　東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

ページプリンタ営業部	電話 03-5334-4550
西日本営業部	電話 06-6243-2100
中部営業部	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道支社	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北支社	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国支社	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国支社	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州支社	電話 092-475-3939
テクニカル・インフォメーション・センター	電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

セットアップガイド

2002年2月25日　第7版発行

カ シ オ 計 算 機 株 式 会 社
カ シ オ 電 子 工 業 株 式 会 社

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。